

2026 年 7 月 12 日 説教参考資料

I テモテ 3 : 14 ~ 16

列王記上 10 : 1 ~ 13

マルコ 8 : 22 ~ 26

「真理を知ること」

今日与えられたテモテの第一の手紙の 3 章 15 節に記された、神の家である教会の土台や柱が真理なのです。教会にもいろいろな人がその真理をぼやかしてしまう人も居ますが、そこには、教会を支えている人たちが居て、教会の屋台骨を支えている人達がいるのです。3:16 **信心の秘められた真理は確かに偉大です。とキリストの真理**であることが記されています。

旧約聖書のサムエル記上では、ソロモンの知恵と豊かさを見ることはできましたが、ソロモンがたてる神を知るには至りませんでした。シェバは、ソロモンの本当の姿や知恵に触れることはできましたが、その知恵のもとである、唯一の神の真理を知ることにはできませんでした。

今日与えられた、マルコによる福音書は、目の不自由な人のイエス様の癒しで、目が見えるようになり、見えた真実は、人という動いている動物は見えますが、人間の心を持たない木のような、目の不自由な人にとっては邪魔な存在な人でしかないのです。イエス様は、再び両手を当てて癒され、その目の見えなかった人は、今度ははっきり見えるようになりました。25 節で、木ではなく、心のある人間であると、はっきり見えるようになったのです。木のように邪魔な歩く人でしかない、という彼にとっての事実、そして、次の癒しで、その邪魔でしかない木のように移動する人も、心を持った人間であることがはっきり分かったのです。キリストの霊を与えられ、彼も真理の霊で人を見ることが出来たのです。

ところの である 教会 神の 生活する 柱 & 土台 真理の
ἡτις ἐστὶν ἐκκλησία θεοῦ ζῶντος, στῦλος καὶ ἐδραίωμα τῆς ἀληθείας.

直訳：3 : 15 b・の所の、神の生活する教会は、真理の土台であり柱なのです。

「真理の柱と土台が、神が生活する教会なのです」

この土台と柱から、古代のギリシャ神殿を思い浮かべますが、ここでは神の生活する教会の土台であり柱なのです、雨を凌ぐ屋根を乗せ、風邪を通さない壁のある、神の家としての教会なのです。生活する場、そして生きる場所なのです。

風邪を遮る壁となる者、雨を防ぎ、強い日差しを遮る屋根となる者が住む家に神は生きておられるのです。その屋根や壁を支える柱と土台が真理なのです。

★秘められた真理＝キリスト

3:16 **信心の秘められた真理は確かに偉大です。すなわち、／キリストは肉において現れ、／“霊”において義とされ、／天使たちに見られ、／異邦人の間で宣べ伝えられ、／世界中で信じられ、／栄光のうちに上げられた。**

確かに この上なく である 信仰深い 奥義

καὶ ὁμολογουμένως μέγα ἐστὶν τὸ τῆς εὐσεβείας μυστήριον

“Ὁς ἐφανερώθη ἐν σαρκί, この、現す 中に 人間（肉体）

ἐδικαιώθη ἐν πνεύματι, 正しい事を証明 中に 霊に

ὤφθη ἀγγέλοις, 天使は見た

ἐκηρύχθη ἐν ἔθνεσιν, 異邦人に宣べられた

ἐπιστεύθη ἐν κόσμῳ, 世に信じられた

ἀνελήμφθη ἐν δόξῃ. 栄光の中に拾われた

悪霊が教え信仰から脱落するのです。

προσέχω プロセコ ①（目的語の to.n nou/nー心を（思いをーが含蓄されて、心
を向ける）注目する、目をとめる、耳を傾ける、使 8:6. ②（再帰代 evmautw/|等
を伴い、または含蓄して）自分自身に心を向ける、気を付ける、注意する、用心す
る、警戒する、ルカ 17:3, 使 5:35 ; [avpo 奪格と] ～に気を付ける、～を警戒し
ている、マタ 7:15 ; [mh, 不定詞と] ～ないように気を付ける、マタ 6:1. ③（再
帰代 evmauto,n 等を含蓄して）自分自身を附属させる、執着する、専念する、熱
中する、ふける（耽る）、固執する ; 使 8:10, I テモ 3:8, 同 4:1, テト 1:14, ヘ
ブ 7:13.

語釈から、リビングバイブルの訳に近いかと取れます。

【LIB】 1Ti 4:1 しかし、聖霊様がはっきりと予告されたように、終末の時代には、教会
の中からも、キリスト様から離れ、悪霊の教えを広める教師の熱心な弟子になる者が現わ
れます。

キリストによる贖いから、離れ、律法の割礼を信じ、律法による救いへ戻ってしまう。
今であれば、形のある、豊かな事柄、要するに、目に見える、分かりやすい事柄を見て信
じてしまうのです。見えるものは信じなくても、あるのです。在るものはいずれ朽ち果て
るのです。ですから信じるに値しないのです。

列王記上

10 : 1～3 難問で試し、ソロモンは全てに解答を与えた。4～5 節で彼の立てた宮殿、彼の家臣、丁
重な給仕、王が主に捧げる献ものを見て。6～7 節で、ソロモンの知恵と富を信じた。

9 節でシバの女王が語る「あなたの神、主はたたえられますように。主はどこしえにイスラエルを愛
し、あなたを王とし、公正と正義を行わせられるからです。」

との言葉の中に、ソロモンの真実があり、ソロモンの神がイスラエルの神でしかない存在にしか見えな
かったのです。

マルコ福音書

◆ベトサイダで盲人をいやす

▲盲人は見えるようになって「人が見えます。木のように、歩いているのが分かります。」

人という動いている動物は見えますが、人間の心を持たない木のような、目の不自由な人にとっては、障害物で邪魔にしかならない人が見えていました。

24節の δένδρα ὁρῶ περιπατοῦντας. : 木が 見える 歩いている

■見えます・ὁρῶ (άω) オロウ (①見る, 認める, 知る, わかる, ～に会う. ②味わう, 経験する, ～に与る.

25節の はっきり見える

διαβλέπω ディアブルポウ 凝視する, しっかり見届ける; はっきり見える.

この言葉は、新約聖書ギリシア語コンコルダンス by J-ばいぶる GREEK

διαβλέπω

< Mat 7:5 >

διαβλέψεις

動)直未来能2単

τότε διαβλέψεις ἐκβαλεῖν

【新共同訳】Mat 7:5 偽善者よ、まず自分の目から丸太を取り除け。そうすれば、はっきり見えるようになって、兄弟の目からおが屑を取り除くことができる。

< Luk 6:42 >

τότε διαβλέψεις τὸ

【新共同訳】Luk 6:42 自分の目にある丸太を見ないで、兄弟に向かって、『さあ、あなたの目にあるおが屑を取らせてください』と、どうして言えるだろうか。偽善者よ、まず自分の目から丸太を取り除け。そうすれば、はっきり見えるようになって、兄弟の目にあるおが屑を取り除くことができる。」

の二か所に同じギリシャ語が用いられていることから、本当の事、本質を見ることができ、心の眼が開かれたのです。

そのために、唾によらない、イエス様の両手から神の霊が注がれたのだと考えられます。偽善者自身の眼から丸太（木）を除くことが出れば、その兄弟のおが屑（小さな木）を取り除くことができ、みんなが全てをはっきり見ることができるということです。偽善ではない真実の善である、真理をはっきり理解することができるのです。

近ごろの世論操作は対話型の人工知能(AI)が主戦場になっているようだ。答えが欲しい時、AIに質問する人が増えつつある。だからこそ、その回答を操作する戦いが起きているのかもしれない。例えばイスラエル政府による米国の世論への働きかけ。イラン攻撃などでイスラエルへの批判が米国内で高まる中、イスラエル政府は米コンサルディング企業クロックタワーX(以下タワー社)と約600万円(約9億円)規模の契

火論 ka-ron

大橋 朋子



世論操作とAI学習

約を締結した。タワー社が2025年秋に米政府に提出した文書などによると、同社はイスラエル政府から、対話型AIの回答をよりイスラエル寄りにするための支援を依頼されたという。イスラエル政府にしてみれば、それは米国をはじめ世界に広がる「反ユダヤ主義」と戦うための「ハ

スバラ」(ヘブライ語で「説明」)であり、当然の広報活動といえることになるだろう。一般に、AIは既存のデジタル情報を収集し分析する。ウェブ上の情報や百科事典、学術論文のほか、政府の公式発表を重視する傾向もあるとされる。タワー社は、今回のように依頼主が政府の場

合、社会に強く訴えかけたい情報を政府のサイトに埋め込むようアドバイスをするそうだ。そのうえで情報が多くなる人の目につくようさまざまな技術支援をする。AIは政府の情報を見つけやすくなり、その分析結果にも反映されやすくなるというわけだ。

ちなみにタワー社を率いるのは18年秋の米大統領選でトランプ氏の初当選を支えた選挙本部元幹部、ブラッド・バースケール氏。イスラエルメディアのハアレツ紙

などによると、イスラエル政府のサイトの一部ではユダヤ人入植地は国家的に承認されるべきだという呼びかけを掲載するような記述が近年目立つ。AIに学習させることも視野に入れた情報操作ではないかと指摘している。どうやら対話型AIに都合の良い回答をさせるため、デジタル空間そのものを再構成する戦いが始まっているようだ。

チャットGPTに、政府系サイトを重視しているのかと尋ねてみると、「参考にはするが、うのみにしてはいない」とのこと。ただ一般に、AIの回答が交流サイト(SNS)などのメディアで引用されたり拡散されたりすれば、めぐりめぐってそれが再びAIの学習対象となり、その回答にも反映されやすくなるだろうという。

AI「先生」について質問してしまいがちだが、AIは私たちの情報環境で育つ「子供」であると思えにいたい。(専門編集委員)

2026.7.7